

GoogleトレンドのAPIをGoogleが公開

Google トレンドの API を Google は公開した

Google トレンドの API を [Google は公開](#)しました。

API で入手できるデータ概要

Google Trends API では、過去 5 年間(1,800 日分)の検索インタレストデータが提供されます。

このデータは日、週、月、または年ごとにグループ化して取得できます。

また、特定の地域や準地域でデータを絞り込むことも可能です。

一貫したデータスケーリング

検索ごとにデータが 0 から 100 の範囲でスケールされるウェブサイト版の Google トレンドのとは異なり、API はすべてのリクエストに対して一貫したスケーリング方法を使用します。

これにより、複数のリクエストや期間にわたって、異なるキーワードの検索インタレストを比較可能です。

たとえば、ウェブサイトでは 5 件のクエリまでしか比較できませんが、API では一度に数十件のキーワードを比較できます。

期間とグループ化

API は、過去 1,800 日間(約 5 年間)のローリングウィンドウからのデータを提供します。

この期間は、たとえば選挙やオリンピックのような主要なイベントを振り返るのに役立ちます。

データは 2 日前までのものが利用可能です。

日、週、月、または年ごとにデータをグループ化することを選択でき、自身のデータと簡単に組み合わせることもできます。

地理データ

API は、地理的区分のための [ISO 3166-2 標準](#)に従って、地域および準地域ごとに分類されたデータを提供できます。

アルファバージョンでのリリース

今回リリースされる Google Trends API はベータよりも前のアルファバージョンです。

リクエスト数の上限があるし、何よりも限定されたユーザーにのみ開放されます。

関心がある人は[専用のフォーム](#)から申し込んでください。

アルファテスターは、何グループかに分けて徐々に拡大していくとのことです。

Google、英国でAI Modeを一般公開。米国、インドに続いて3か国目

Google は AI Mode を英国でリリースした。

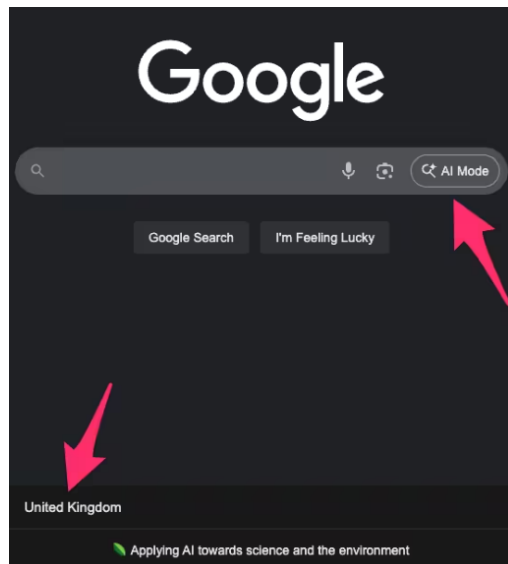
Google は [AI Mode を英国でリリース](#)しました。

Search Labs からのオプトインは不要で、全ユーザーが利用できます。

米国、インドに続く 3 か国目は英国

英国の Google 検索にアクセスすると検索ボックスに AI Mode のボタンが出ています。

ブラウザの左下に表示される検索場所の国が「United Kingdom」になっているので、英国の Google であることが示されています。

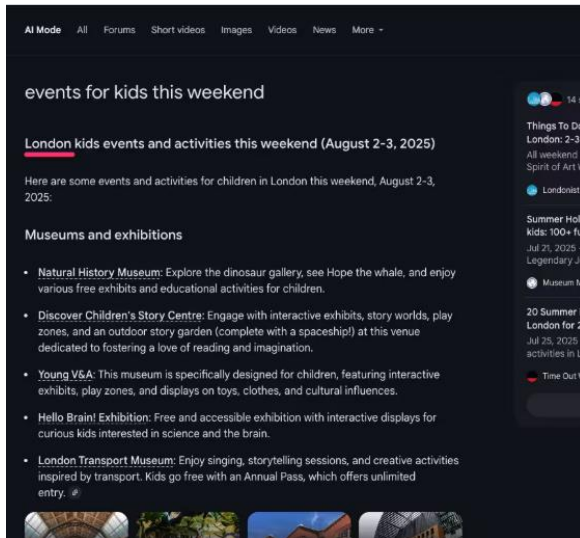


Google、英国でAI Modeを一般公開。米国、インドに続いて3か国目

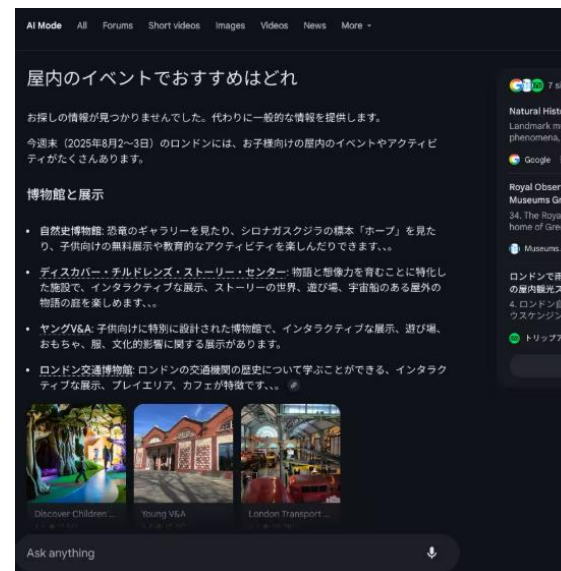
Google は AI Mode を英国でリリースした。

[events for kids this weekend](今週末の子ども向けのイベント)で、AI Mode 検索しました。

場所をクエリで指定していませんが、ロンドンで検索しているのでロンドンのイベントを AI Mode は紹介します(AI Mode も通常検索と同様にローカライズが強く働く)。



[フォローアップ質問](#)からだに[日本語にも応答](#)する裏技は英国の AI Mode にも通用します。



※追加質問でも場所を指定しないが、続きの会話なのでロンドンの屋内のイベントやアクティビティを選んでくれる

Google、英国でAI Modeを一般公開。米国、インドに続いて3か国目

Google は AI Mode を英国でリリースした。

米国、インドに続いて 3 か国目の AI Mode リリースは英国でした。

一般公開の時期は次のとおりです。

- [米国:2025 年 5 月](#)
- [インド:2025 年 7 月](#)
- 英国:2025 年 7 月 ※この記事

インドと英国はどちらも 7 月ですが、上旬と下旬で 1 か月近い間隔が開きがあります。

また、米国・インドではオプトインユーザーを対象にまず公開され、その後一般公開でした。

一方、英国の場合は初めから一般公開です。

夏には日本での導入も期待しているのですが、英語からですかね。

それでも日本語に対応していることは判明しているので、望みはあります。

日本の場合もオプトインなしの、いきなりの一般公開になる可能性もあります。

クローलバジェットを消費するのはどのHTTPステータスコード？ 404はクローलバジェットに本当に影響しないのか？ #scldd2025

各ステータスコードがクローलバジェットを消費するかどうかの対応を SCL DD APAC イベントでのセッションをもとに紹介する。

[Faber Company](#) の海外遠征の一環で、タイのバンコクで 7/23 ~ 7/25 に開催された [Search Central Live Deep Dive Asia Pacific 2025](#) に参加してきました。

イベント期間中にセッションハイライトを [LinkedIn に投稿](#)しており、そのなかから各 [HTTP ステータスコード](#) が [クローलバジェット](#) を消費するかどうかの実態をこの記事でシェアします。



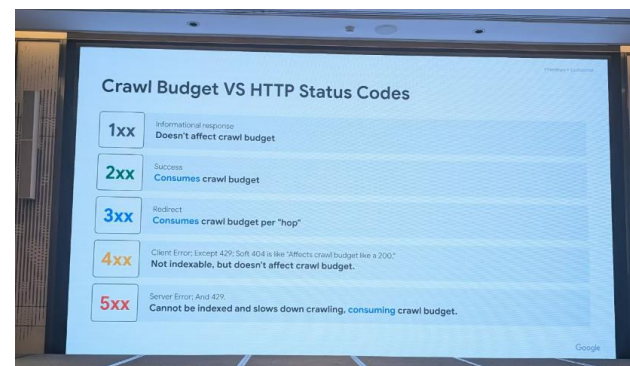
クローलバジェット vs. HTTP ステータスコード

各ステータスコードがクローलバジェットを消費するかどうかの対応は次のとおりです。

- 1xx(情報レスポンス):クローलバジェットに影響しない
- 2xx(成功):クローलバジェットを消費する
- 3xx(リダイレクト):「ホップ」ごとにクローलバジェットを消費する
- 4xx(クライアントエラー):インデックス登録できず、クローलバジェットには影響しない

※ただし、429を除く。またソフト 404 は 200 のようにクローलバジェットに影響する

- 5xx(サーバーエラー)および 429:インデックス登録できず、クロールが遅くなり、クローलバジェットを消費する



クロールバジェットを消費するのはどのHTTPステータスコード？ 404はクロールバジェットに本当に影響しないのか？ #scldd2025

各ステータスコードがクロールバジェットを消費するかどうかの対応を SCL DD APAC イベントでのセッションをもとに紹介する。

大量に 404 があってもクロールバジェットに影響はないのか？

ここで、404 がクロールバジェットを消費しないことを疑わしく感じた人がいるかもしれません。

[ゲイリーに直接確認](#)してきました。

次のような回答を得ました。

404 はクロールバジェットに影響しない。もし 404 がクロールバジェットを消費するなら、キミのサイトに競合他社が害を及ぼすことができてしまうが、そのようなことは決して起こらない。

サイトにたとえ何百万もの 404 ページがあったとしても、Google のクロールスケジューラはそれに対応するように調整する。

たしかに、競合が嫌がらせで存在しないページにリンクを張りまくったらネガティブ SEO が可能です。

そういったことは実際に発生していないので(いないよね?) 404 がクロールバジェットを浪費するという心配はいらなそうです。

ChatGPTで共有した会話がGoogleにインデックスされている!? 共有解除の方法あり

共有した ChatGPT の会話が Google にインデックスされている。過去に共有した会話を不特定多数の人に見られたくない場合は共有を解除した方がいいだろう。

共有した ChatGPT の会話が Google にインデックスされています。

過去に共有した会話を不特定多数の人に見られたくない場合は共有を解除した方がいいでしょう。

※追記あり

site: 検索で検索結果に出てくる ChatGPT の共有

site:chatgpt.com/share で Google 検索すると、インデックスされている ChatGPT の共有会話が検索結果に出てきます。



※site: に「夏」のキーワードを加えた検索結果

第三者に見られてしまう可能性があるのはよろしくありません。

ChatGPTで共有した会話がGoogleにインデックスされている!? 共有解除の方法あり

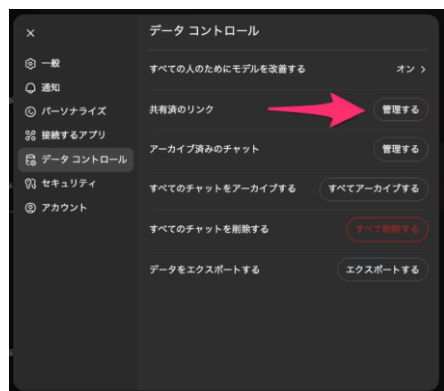
共有した ChatGPT の会話が Google にインデックスされている。過去に共有した会話を不特定多数の人に見られたくない場合は共有を解除した方がいいだろう。

共有を解除する方法

ChatGPT で過去に共有した会話を不特定多数の人に見られたくない場合は共有を解除するといいでしょう。

ChatGPT の設定から解除できます。

「設定」→「データ コントロール」→「共有済のリンク」へ進み、「管理する」ボタンを選択します。



過去に共有した会話の一覧が出てきます。

右端のゴミ箱アイコンで削除できます。



右上の 3 点リーダーから一括削除も可能です。

ChatGPTで共有した会話がGoogleにインデックスされている!? 共有解除の方法あり

共有した ChatGPT の会話が Google にインデックスされている。過去に共有した会話を不特定多数の人に見られたくない場合は共有を解除した方がいいだろう。

ずっと以前に、[Gemini\(当時の名称は Bard\)の共有がインデックス](#)されている状況がありました。

そのときは、[ChatGPT の共有はインデックスされていなかった](#)のですが、どこかのタイミングで構成に変更があったようです。

いずれにしても、無関係の他人に会話を見られるのは気持ちがいいものではありません。

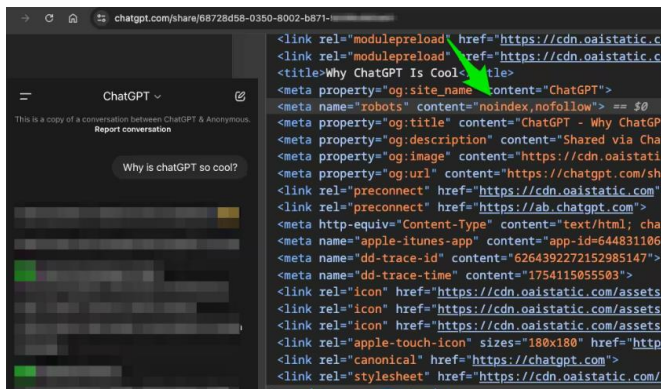
不要な共有は解除することをお勧めします。

また、共有がインデックスされないように、ChatGPT 側が対処するまでは共有は慎重になった方がいいかもしれません。

【UPDATE (2025/8/2)】

共有した会話のページに noindex が追加されました。

検索結果には出なくなっています。



[H/T] [Rick Tousseyn](#), [Oliver Molander](#), and [JP Garbaccio](#)

「記事大量アップ」はもうSEOに逆効果？ なぜ？ コンテンツ品質管理のポイントは？【海外&国内SEO情報ウォッチ】

Web担当者Forum の連載コーナー「海外&国内SEO情報ウォッチ」を更新。「大量のコンテンツを制作する」という長年の SEO 戦略は、現在では有害 —— なぜコンテンツの量を突き詰めるとダメなのか、どうすればいいのか。持続可能な品質確保のための手順とポイントとあわせて解説する

[Web担当者Forum](#) の連載コラム、「[海外&国内SEO情報ウォッチ](#)」を更新しました。

今週のピックアップはこちらです。

- ・ 「記事大量アップ」はもうSEOに逆効果？ なぜ？ コンテンツ品質管理のポイントは？



ほかにも、ウェブサイト運営や SEO に役立つ、次のような情報を取り上げました。

- ・ なぜオウンドメディアは失敗するのか？ 原因と成功への道筋
- ・ SEOは死んだのか？ ←グーグル社員が明確に否定、進化しているだけ
- ・ SEO業界29年目の権威が明かすSEO情報収集術
- ・ SCの「削除」ツールが名称変更し「非表示」に
- ・ ポストGoogle時代がやってくるのか？ ChatGPTが巻き起こす検索行動の変化
- ・ AIチャットの次はAIブラウザ戦争が勃発!? PerplexityがCometブラウザを公開
- ・ グーグルー強は揺るがない!? 決算から読み解くグーグル検索の好調ぶり
- ・ Search Console Insightsがリニューアル、解析初級者に親切な設計
- ・ Search Consoleのロゴが一新

こちらからどうぞ。

- ・ [「記事大量アップ」はもうSEOに逆効果？ なぜ？ コンテンツ品質管理のポイントは？【SEO情報まとめ】](#)

Google、AI Modeでの広告掲載をQ4前に開始か？

Ad Age が報じるところによると、AI Mode の回答内での広告掲載を Google は計画しているとのことだ。

[Ad Age](#) が報じるところによると、AI Mode の回答内での広告掲載を Google は計画しているということです。

第 4 四半期前にリリース予定

記事によると、第 4 四半期の前に広告主向けに AI Mode での広告を Google は広く展開する計画です。

まずは、米国でテストを開始します。

Performance Max や新しい AI Max for Search といった自動化広告プロダクトを利用する広告主の広告は、自動的に AI Mode 内に配信されます。

つまり、広告主は対象を直接ターゲティングできません。

広告はデモグラフィックやキーワードに基づいて配信されます。

モバイル検索と PC 検索の両方の AI Mode が対象です。

AI によってユーザー行動が従来の青色リンクから変化しても、こうした掲載枠が検索広告収益を維持すると Google は見込んでいます。

予想された AI Mode 広告

AI Mode 内での広告掲載は当然の流れのように思います。

AI Overview での広告は、[モバイル検索では昨年 11 月](#)に、[PC 検索では今年 5 月](#)に試験運用が米国で始まっています。

AI Mode での広告掲載も将来的にはとのことだったので時期だけの問題でした。

AI Mode 広告の配信が米国で実際に始まったらあらためてお伝えします。

AI 検索機能内での広告掲載の日本での導入は当分先になるような気がしますが、いずれは始まるでしょう。